



稲村 雅司 議員

### 旅客船・遊漁船等に対する安全設備等の義務化について

**質** 遊漁船登録の船舶は何隻あるか。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

遊漁船登録で補助対象外の船舶は43隻です。

**質** 本村には無線の海岸局がなく、衛星電話を導入するしか選択肢がないが、海岸局の必要性についてどう思うか。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

無線海岸局は、操業の効率化及び航行の安全を確保するため情報連絡の手段として不可欠であり、船舶の遭難など緊急時における救助通信、自然災害時における非常無線通信を取り扱うなど公共的性格を兼ね備え、極めて重要な役割を担うものと考えている。



當山 直彦 議員

### 介護保険料について

**質** 本村の保険料の現状を伺う。

**答** 福祉課長（石川 司）

令和6年度より構成市町村の保険料が均一賦課されたことで、月額平均6千929円と前年度より577円安くなりましたが依然高い状況にあります。

**質** 本村の保険料が高い要因を伺う。

**答** 福祉課長（石川 司）

高齢者人口の増加を要因とする要介護認定者の増加及び介護保険サービス利用率の高さが要因の一つです。

### 介護予防・重度化防止の推進について

**質** 本村の介護予防事業の課題を伺う。

**質** 一般社団法人日本マリン無線協会が本島、離島を含め、カバーができる海岸局の開局を本年度中で目指している。船舶操縦者も無線免許を取得しなければならぬが資格取得の面からもサポート体制を取ってほしいが補助は可能か。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

無線通信の重要性は十分に認識しており、特に安全確保や業務の効率化において大きな役割を果たすものと考えている。村としては、無線海岸局の整備が本格的に進展した際には、漁業や観光業の関係者の意向も確認しながら、補助制度の導入について検討していく。また、今回の補助事業と同様な事業があれば、同じようなサポート体制を行いたいと考えている。

### オーバーツーリズム抑制による観光推進事業、協議会について

**質** 協議内容と、今後の方向性は。

**答** 商工観光課長（親泊 誠）

周辺環境への課題、施設利用に関する課題、自然環境への課題、安全確保に関する課題、観光の質に関する課題、コンプライアンスに関する課題などを協議している。法的根拠に基づ

**答** 福祉課長（石川 司）

各教室で新規の参加者が増えないことです。

**提** 高齢者が主体性を持って活気ある生活を楽しむ送れる環境を運動以外の活動も含め関係機関等と連携してつくっていただきたい。

### 権利擁護・虐待防止対策について

**質** 成年後見制度について伺う。

**答** 福祉課長（石川 司）

任意後見制度・本人が十分な判断能力があるときに予め任意後見人に委任する事務の内容を公正証書による契約で定めておき、本人の判断能力が不十分になったとき任意後見人が委任された事務を本人に代わって行う制度。法定後見制度・裁判所へ申し立て手続きを行い、候補者を立てることができず最終的には後見人を決めるのは家庭裁判所となっています。

**質** 高齢者虐待の定義を伺う。

**答** 福祉課長（石川 司）

①養護者による虐待・高齢者の世話をしている家族、親族、同居人等による虐待。②養介護施設従事者による虐待・介護施設または要介護事業の業務

くガバナンス強化の仕組みを構築するため、次年度はエコツーリズム推進協議会を立ち上げ、全体構想の策定に取り組みとともに、真栄田岬周辺活性化施設駐車場における商業利用等に関する条件整備について、関係者と協議し検討していく予定。

**質** 協議会の中に漁協が入っていないかった。漁業関係の方にぜひ入っていただき多様な意見を集約してほしいが。

**答** 商工観光課長（親泊 誠）

漁業関係者の意見を聞き全体構想の中で検討していければと考えている。

### 海水温の上昇によるサンゴの状況について

**質** 本村のサンゴの状態、養殖サンゴの状況は。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

漁協からの聞き取りでは、「約7割から8割のサンゴが死滅している」養殖サンゴも天然サンゴと同様に「約7割から8割が死滅している」と報告を受けている。

**質** 現状のサンゴの状況報告を受けて、養殖サンゴの回復支援について村の考えは。

に従事する職員による虐待。行為については①身体的虐待②介護・世話の放棄③心理的虐待④性的虐待⑤経済的虐待がある。

**質** 本村における高齢者虐待の現状とその対策を伺う。

**答** 福祉課長（石川 司）

令和4年度2件、令和5年度5件、令和6年度11月現在3件。高齢者の状況把握から、個別支援や緊急時には緊急措置入所の決定など個々のケースに合わせた対策支援を行っている。

**提** 介護者を孤立させないため、思いを共有できる家族的組織づくりを優先に行うべきだと考えます。当事者またその家族を守るようお願いいたします。

### 社会参加・生きがいの推進について

**質** 生きがい就労の場づくり推進事業の内容と期待する成果を伺う。

**答** 福祉課長（石川 司）

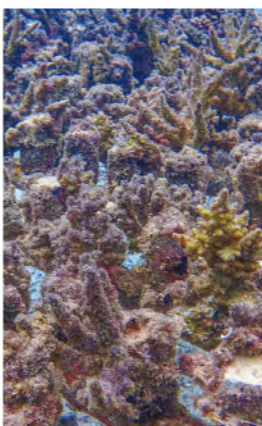
高齢者の豊かな経験と知識、技能を生かした社会参加の場を創設する内容となっている。成果としては、役割と生きがい、安心感を実感できる高齢者の増加及び地域包括ケアの充実を考えている。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

漁協から、親サンゴの育成に力を入れたいとの意向を伺っている。養殖場で新たにサンゴを植え付ける際に、死滅したサンゴが障害となる可能性がある。死滅したサンゴ等の処理の方法について、漁協と協議を行う予定。

**答** 村長（長浜 善己）

海水温上昇による大規模な白化現象によりサンゴが死滅したことには本当に胸を痛めるところです。これまで、漁業協同組合が中心になって4万7千本を再生事業でやってきた。沖縄で初めて養殖サンゴをやったのも恩納村です。サンゴの村宣言をしている本村として、恩納村漁業協同組合、また恩納村観光協会、恩納村マリンスポーツ協会など、様々な関係機関と連携して、この事態をよりよい方向に進めていきたいと考えている。



▲サンゴ養殖場の様子

**質** 社会貢献や就労支援のための環境づくりに対する村長の見解を伺う。

**答** 村長（長浜 善己）

仕事や与えられた役割を通し、他者に認められることで自己肯定感と幸福感が得られるものと思います。高齢者が活躍できる地域づくり、環境整備を進めていきます。

**提** 認知症や麻痺、障害を持っている高齢の方でもそのストレングス（強み・できること）を見極め、主体性を尊重し支援することのできることを発案します。就労・ボランティアを通して「生涯現役」が介護予防の選択肢の一つとなるよう取り組んでいただきたい。



▲ベチパーを利用した作品づくり